



IISEE Newsletter



2014年1月29日

独立行政法人建築研究所国際地震工学センター

第105号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 新年のご挨拶
- グローバル地震観測コースが1月21日からスタート
- JICA 中国耐震建築人材育成プロジェクト
- 研修生からのレター
- 2014年 IISEE 研修スケジュール
- IISEE の定期発行物とウェブサイト

研修 データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

新年のご挨拶

国際地震工学センター長 横井 俊明

皆様がこのニュースレターをご覧になるのは、2014年も早一月が過ぎつつある頃ではなかろうかと思っています。読者の皆様、そしてご家族、同僚の皆様、明けましておめでとうございます。本年も良い年でありますように、また、IISEEの研修が2014年も更に良いものとなりますように祈念いたします。



横井国際地震工学センター長

心、研修事業を通じて貢献するというIISEEの使命を再確認させてくれます。

2014年は、IISEEにとって期待と課題の多い年です。2012年10月に始まった現在の研修コースは、全コースを3年おきに見直すというJICAの原則に従って、2015年9月に終了することになります。次の3年間の研修プログラムを再起動する為に必要な研修コースの評価と開発途上対象の要望調査が、今年JICAにより実施されます。この比類のない研修プログラムを引き続き実施していく為に、皆様の御支持と御協力が必要です。よろしく御願ひ致します。

IISEEとニュースレターの読者の皆様、帰国研修生及び地震学・地震工学分野で働く方々との情報交換を容易にする為に、新しいIISEEの活動を準備しています。ニュースレターで配信される情報に注目していただき。

最後になりますが、皆様のIISEEへのご厚意とご親切に対し、改めて一言感謝の意をつけ加えさせていただきます。

2014年が良い年でありますように。

グローバル地震観測コースが1月21日からスタート

国際地震工学センター管理室長 飯場 自子

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



CTBTO ベル局長

(IDC)局 ランディー・ベル局長と、外務省軍縮不拡散・科学部軍備管理軍縮課野口泰課長が来賓として出席されました。

グローバル地震観測研修コースは、地震学の知識を使って核実験探知に必要な技術を獲得した人材を育成するという特別な目的をもった研修です。コースを実施するには、CTBTO、外務省、JICA、そして気象庁の支援・協力が必要です。

式典では、2人の来賓挨拶のあと、建築研究所 坂本雄三理事長、そして JICA 筑波国際センター 植村吏香次長の歓迎挨拶がありました。

最後に研修生を代表してネパールのロク・ビジャヤ・アディカリ氏から返礼がありました。研修期間は短く2か月間です。研修生が IISEE で期待される技術を習得しそして日本の良い思い出をもって帰国できることを期待しています。また、歓迎の言葉として、「意志あるところに道あり」と言う言葉を研修生に贈ります。



開会式

JICA 中国耐震建築人材育成プロジェクト

**国際地震工学センター 特別客員研究員
元中国 JICA 長期専門家 関 松太郎**

2008年5月中国四川地震の後、JICA は中国耐震建築に関する人材育成プロジェクトを翌年の2009年5月から4年間実施しました。その中の活動の一つとして、中国の建築構造設計者、大学教授、建築行政官など72名が IISEE で研修を受けました。

研修を終了して帰国した研修生は、



日中耐震 WS 参加の元研修生(2013.3 北京)





楽しむのは今です。

IISEE の講義の素晴らしさ、IISEE のスタッフの暖かいもてなし、日本の高い建設技術等に強い感銘を受けたことが報告されています。

現在、元研修生は個人の能力向上だけでなく、中国の新しい国家基準の策定、中国国内各地での地震被害低減に関する人材教育等のリーダー的存在として貢献しています。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様のご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様のご同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願いします。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

研修生からのレター

✉ Dr. Alexandru Octavian ALDEA:

ブカレスト工科大学教授

(ルーマニア、1999-2000 地震工学コース)

ルーマニアの元研修生アルディア氏から、「地震動:地震工学への応用例」というタイトルの本が寄贈されました。この本は、2002 年～2008 年にルーマニアで実施された JICA のプロジェクト方式技術協力「ルーマニア地震災害軽減計画プロジェクト」の結果を、氏がとりまとめたものです。プロジェクトは、ルーマニアのブカレスト工科大学、ルーマニア国立地震災害軽減センター、同国立建築研究所、そして日本の建築研究所、国土技術政策総合研究所によって実施されたものです。氏によると、2013 年はプロジェクト終了から 5 年経ち、また、1923 年 9 月 1 日発生の関東大震災から 90 年であることからそれらを記念して出版されたそうです。本は、2013 年ブカレストの MATRIX ROM から出版されています。

2014 年IISEE研修スケジュール

☆地震学コース、地震工学コース、津波防災コース

1 月 6 日(月)	授業再開
1 月 27 日(月) - 2 月 7 日(金)	GRIPS 集中講義
2 月 18 日(火)	国際親善パーティ/ジェネラルミーティング
* 4 月 15 日(火) - 18(金)	関西方面研修旅行
5 月 30 日(金)	ジェネラルミーティング
6 月 2 日(月) - 9 月 3 日(水)	個人研修
7 月 17 日(木) - 18 日(金)	中間発表会
8 月 21 日(木) - 22 日(金)	最終発表会/ジェネラルミーティング
* 8 月 - 9 月	国土交通大臣表敬(1 日)
9 月 11 日(木)	IISEE 閉講式
9 月 12 日(金)	GRIPS 卒業式

☆グローバル地震観測コース

1 月 21 日(火)	開講式
2 月 6 日(木) - 8 日(土)	関西方面研修旅行
2 月 18 日(火)	国際親善パーティ
3 月 14 日(金)	閉講式

*予定

IISEE 定期刊行物及びウェブサイト

☆定期刊行物

IISEE では、次の定期刊行物を出版しています。

- (1) **国際地震学および地震工学研修年報(和文)**-----年1回
年報は、9月から翌年10月までの研修活動を報告したものです。沿革、研修生及び講師リスト、研修スケジュール、カリキュラム、個人研修テーマ、組織図等を掲載しています。現在第39号を印刷中です。
- (2) **Bulletin of IISEE (英語)**-----年1回
ブリテンは、年1回、地震学、地震工学、津波に関する知識と技術の交流を目的として出版され、関係機関に配布しています。開発途上国の地震学、地震工学、津波分野に関する論文を掲載しています。内容は、修士論文概要、オリジナルの研究論文、技術論文、評論、報告書に関する寄稿文です。皆様の寄稿をお持ちしています。現在第48号を印刷中です。
- (3) **YearBook (英語)**-----隔年
イヤーブックは、2年に一度研修生のネットワーク促進のために発行され、限定されたメンバーのみに配布されます。IISEE は、地震が多発する開発途上国の地震学・地震工学分野の人材を育成することによって、日本政府の途上国支援を促進しています。イヤーブックは、IISEE と研修生との貴重な情報交流を行うために発行されています。2012年に第31号が発行されています。

☆ウェブサイト

IISEE では、ウェブサイトを通じて地震及び研修情報のデータベースを公開しています。(http://iisee.kenken.go.jp/).

- (1) **IISEE Net**----- (http://iisee.kenken.go.jp/japanese/net/)

IISEE Net (地震防災技術情報ネット) は、建築物の地震災害軽減情報を公開しています。主に開発途上国の技術情報(耐震設計基準、地震ネットワークと活動、地震被害、マイクロゾーネーション)です。

- (2) **建築研究所強震観測** ----(http://smo.kenken.go.jp/ja)

全国70カ所以上の最新の強震観測記録を提供しています。建築研究所では、1957年から強震観測を実施しています。

- (3) **その他**

IISEE-UNESCO レクチャーノート -----(http://iisee.kenken.go.jp/lna/?language=jp)

IISEE E ラーニング -----(http://iisee.kenken.go.jp/japanese/el/)

シノプシス・データベース -----(http://iisee.kenken.go.jp/syndb/?language=jp)

Bulletin データベース ----- (http://iisee.kenken.go.jp/bltndb/)

地震情報 -----(http://iisee.kenken.go.jp/quakes.htm)

宇津カタログ(世界の地震被害) -----(http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html)

地震カタログ ----- (http://iisee.kenken.go.jp/eqcat/Top_page.jp.htm)

IPRED (ユネスコ共同プロジェクト) -----(http://iisee.kenken.go.jp/japanese/?p=ipred)

